

8日から新型コロナウイルスも感染法上の第5類に変更となりました。機構本部に来る時の電車は、乗った時刻がほぼお昼ということで、立っている人がちらほらという感じの込み具合でしたが、マスク着用率はざっと見たところ9割くらいでした。昨日訪問したある企業でも、8日からは一応マスク着用は任意ということとしたそうですが、ほぼ全員マスクを着用していました。まだ外している人は少数派のようです。でも、連休の観光地のテレビなんか見ていると、外している人がかなりいるようです。今後は徐々に外す人が増えていくのでしょうか。

感染状況の発表についても従来の毎日発表は5月8日(5月7日分)で終わり、代わりに週一回金曜日に「定点把握」した数字の発表となります(次回発表は5月19日(金))。把握数も従来は全数把握でしたが、今後は一部(約5000)の医療機関の把握となるそうです。といいながら、先週令和5年度春季のワクチン接種券が送付されてきました。高齢者など重症化しやすい人を対象に無料接種が続けられています。第9波がすぐに来るとい話もあります。まだまだ、コロナは終わっていないということでしょう(中山)。

目次

- 1 両立支援情報サイト
- 2 関連情報

1 両立支援情報サイト

「治療と仕事の両立支援」に関するポータルサイトとしては、厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」がありますが、産業医科大学においても「両立支援情報サイト」が開設されています。

本サイトでは、両立支援とは何かが記載されている「広報資料」、両立支援の人的基盤としての教育資料を集めた「教育資料・自己学習」、両立支援の実践を助ける情報基盤である「情報・実践ツール」と分類をし、それぞれ必要な情報にアクセスできるように工夫されています。また、動画や漫画解説、各種マニュアルも数多く用意されています。

<https://www.ryoritsu.dohcuoeh.com/>

○本サイトは令和3年度労災疾病臨床研究事業費補助金による研究の成果として開設されたものです。

その研究目的は

「治療と仕事の両立支援は、これまで事業者・医療機関への広報や各支援者向けの研修会など様々な取り組みがなされているが、平成30年の労働安全衛生基本調査では「両立支援の取り組みがある」事業者は55.8%と低調のまま推移している。先行的ヒアリングで事業者や医療機関の多くは「何から手を付けていいかわからない」、「どこに情報があるかわからない」といったもので、両立支援の全体像が把握しがたく、対応に苦慮していることが想定される。これは、有益な情報の多くが分散しており必要な『情報基盤』が構築されていないことと、多数いる支援者の役割期待が明確化されておらず具体的な行動に落とし込むことができる『人材基盤』が脆弱であることが原因であることが考えられる。本研究の目的は、両立支援における意思決定に必要な情報である『情報基盤』と支援者が支援実力を発揮できるような能力である『人材基盤』について整理し、公開することである。」とされています。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000990179.pdf>

2 関連情報

(保健指導リソースガイド)

- 産業保健看護職の一人職場での自己育成計画によるキャリア開発
—新任期／中堅期スキルチェックリスト活用の手引き—

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/reference/2023/05/post-935.php>

(こころの耳)

- 5月 「五月病」とのつきあい方

<https://kokoro.mhlw.go.jp/column/sea05/>

(パーソル研究所)

- 女性活躍を阻む「管理職の罰ゲーム化」

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/column/202302240001.html>

- 日本のはたらく幸せ実感はなぜ低い？国際比較調査を発表
日本企業の組織文化がはたらく幸せ実感を下げていることが判明

<https://rc.persol-group.co.jp/news/202304121000.html>

(東洋経済オンライン)

- 部下の心をへし折る管理職の「悪気のない一言」

職場の心理的安全性を下げる無意識の口癖

<https://toyokeizai.net/articles/-/666572?page=3>

(ユーキャン)

●ユーキャン人気講座 年間ランキングを発表！

(ユーキャンはいろいろな通信教育を行っている会社で、全部で150種類以上の講座を開設しています。その数多い講座のいろいろな人気講座のランキングです。

はえあるベストスリーは

1位医療事務 2位調剤薬局事務 3位食生活アドバイザー (R)

です。

そのほかベストテンには、ファイナンシャルプランナー (FP)、簿記(3級)、宅建士などといういかにもという講座が入っていますが、なんと「心理カウンセリング」というのが10位に入っていました。「心理カウンセリング」の講座自体がどのような内容かはさておき、意外なところで「メンタルヘルス」に出会いました。

https://www.u-can.co.jp/company/news/1217608_3482.html

ちなみに

武器になる資格、10年間で最も選ばれたのは「ファイナンシャルプランナー (FP)」。10年後の予想は「ケアマネジャー」、だそうです。

https://www.u-can.co.jp/company/news/1217375_3482.html

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com